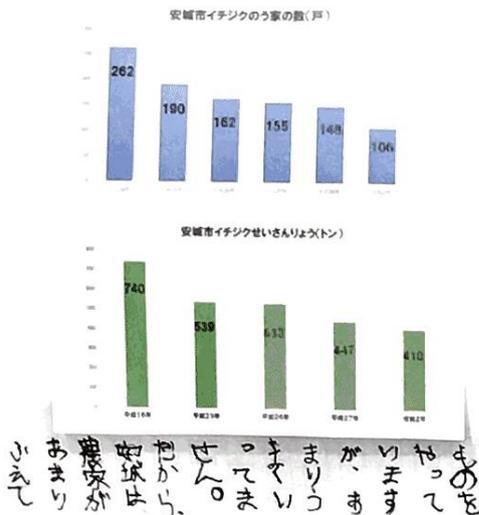


未来の安城のイチジクをげくえ!! がんばれ農家の父たち



安城市立文山小学校
総合学習新聞
発行者:1班



今、安城市のイチジク生さんりようは、農家さんの数がどんどん減っています。そして生さんりようがわか山県にぬかされてしまいました。15年前は、イチジクが出荷されていたけれど、今407で、3307へってしまいました。それには、理由があります。なぜかというと、高い者の人がふえて、大へんになつて、やめてい

るからです。しかも、やめて畑を、田んぼにしてしまつたり、ちがう人に、イチジク畑がないものの畑にしてしまつたり、新しく農家になる人があきらめてしまつてもあるからです。

今、イチジク生さんりようが1位の紀の川市は、いろいろなくふうをしてくるから、安城も「お見合いシニア」フイチジクスクール

いじりのです。そして、安城市のイチジク生さんりようは、10年後には、10人近くになつてしまいます。こうして、イチジクせいさんりよう、農家さんがへ、ています。それでも、農家さんたちは、力を合わせてがんばつています。ぼくたちは、もつと、農家がふえて、全国一位になつてほしいです。

は、おから畑になつて、大きな、さず、わねを見て、買う人の目線になつて、やめて、います。

イチジクは、3つに分けて、パックに入れます。イチジクは、同じような大きさのものを3つに分けて、パックに入れます。



家さんの仕分け方

一つ目は、こまかくけんをさして、二つ目は、せんか、たものは、三つのことを守りながら、かして、います。

一つ目は、畑のことです。大きな畑が二人でやつても、畑は大きいから、人数がたりないか、せしめないと、モット人数をふやして、仕分けをせよ、男の人がしつつかくするのを、決めて、決めるから、です。

二つ目は、畑のことです。大きな畑が二人でやつても、畑は大きいから、人数がたりないか、せしめないと、モット人数をふやして、仕分けをせよ、男の人がしつつかくするのを、決めて、決めるから、です。

みんなでやろう イチジク会社

ぼくたちは、考えた作せんは、イチジク会社を作ることに、理由は、三つあります。

一つ目は、グループのこで、アアでやる、男女分かれて、男の人は、しゅうかくで、女の人は、仕分けで、やる、作業が楽になるから、です。

二つ目は、畑のことです。大きな畑が二人でやつても、畑は大きいから、人数がたりないか、せしめないと、モット人数をふやして、仕分けをせよ、男の人がしつつかくするのを、決めて、決めるから、です。

後記集

ぼくたちは、わたしたちは、イチジクのことを勉強して、しゃうかくのことや、仕分けのこと、せんが畑でけんをさしていること、出荷のし友など、イチジクのいろいろなこと、を学びました。よい所、悪い所があるのが分かりました。よい所があるのは、いいけど、問題点があるので、その問題点をよい点にしたいので、仕分けのことやけんをさのことを、守り、安城のイチジクが、もつと有名になつてほしいです。

わたしたちが、学んだイチジクのことや、作せんを、やつて、農家さんを、やつたりして、こ、これからも安城のイチジクを守りたいです。

たり、助け合いながら、できます。なので、イチジク会社を作り、イチジクの出荷りなうを、やつて、いんとよいと思ひます。

